話し合いの米づくり
稲の集団栽培

稲づくりの考え方

稲は米を作るために作っているのではなくて、生活の手段として作っているということです。

だから稲を作っている農家の立場から見れば、稲はなんでもいいのだ、できるだけ楽に、手間も、金もかけずにたくさんとれて、しかも高値で売さえすれば稲づくりの目的は達せられるわけです。

それならば、三反農家も八反農家も、あるいは二町歩の農家も、みんな同じように稲の世界へはいって稲作技術者なみの知識をもたなければ、人なみの収量があがらない、というような稲作のありかたそのものを反省すべきではないか。

米はほしいけれども、米ばかりに夢中になっては、家族の口が保てないような農家まで、稲の世界へひっぱり込もうとするから、その人はついてゆけない。

ついてゆけない農家と、ついてゆける農家と入りみだれて田圃をもっているから、収量があがらない。

また、知識の断層が大きくなって野良に争いが起る。

稲の作り方を知っている人も、知らない人も同じように、技術の恩恵に浴することができるような形を作りあげることが先決問題ではなかろうか。

一本の土管で水を調節しなければならないひとつの耕地の中で、早・中・晩生種が入りみだれている現状を改めずに、それぞれの品種に適した時期に中干をやろうとするから水ゲンカが絶えない。

アゼひとつをへだてて稲を作り、軒を並べていながら、互いに気まずい思いで暮さなければならない。

生活の手段の稲作がもとで、自分達の生活を暗くしているとするならば稲づくりのありかたを根本的に考えなおすときでなかろうか。

アゼをへだてて並んでいるその一帯で、いくつもの品種をつくり、まるっきりちがった作り方をやらなければならないほど土質はちがっているものではない。

せいぜい二つか三つにわけられるだけで、一色に区分されるところでは、そこに適する品種は同じはずである。

土質が似ており、品種が同じなら、そこでの米の作り方は同じである。

事実、秋の稲を見るとわかる。

たとえ田圃一枚一枚飛石みたいに入りみだれていても、同じ耕作者の稲は同じ姿をしている。

土質に合った品種を決め、その品種と土質に合った栽培法を組み立て、部落中のみんなが歩調をそろえていき、適期に必ず中干ができ、追肥を入れ、薬剤撒布も行なわれていく。

こうした形を作ってゆくものこそ稲の生理に合った話し合いによる本当の稲づくりである。

夜おそくまで続く，集団栽培の話しあい

仔豚の申し込みは
農協へ

昭和四十年度の養豚振興事業として、村内に飼育されている優良母豚を村が繁殖豚に指定し、この指定豚から生れた優良仔豚を村内の繁殖用基礎豚として村の養豚事業をすすめることになりました。

村が指定した豚から生れた仔豚を繁殖豚として育てようという人には、その仔豚育成者に仔豚一頭について千円を助成します。希望者は農協へ申し込んで下さい。くわしいことは産業振興課へお問合せ下さい。

目標額を突破した
建物共済
39年度部落別加入成績まとまる

昭和三十九年度の建物共済の加入成績は、皆様方の御協力により、別表のとおり、目標額の三億六千万円を突破致しましたが、農家戸数一、一〇〇戸余に対し七五〇戸余の加入で、未加入戸数が三五〇戸位あります。災害は忘れた頃に発注するものです。おたがいの幸福と安全のために未加入者の方は是非とも御加入下さい。

昭和39年度建物共済落部別加入成績

部落名	口数	金額 円	部落名	口数	金額 円
金　池	48	14,220,000	新　谷	25	12,230,000
石　瀬	25	13,420,000	油　島	34	4,830,000
岩　室	53	28,600,000	高　畑	55	9,810,000
樋　曽	37	16,079,213	原	12	12,000,000
尻　引	3	950,000	津雲田	21	10,250,000
田子島	22	6,940,000	富　岡	10	6,000,000
橋　本	40	22,030,000	高　橋	11	6,800,000
久保田	16	4,960,000	和納一区	13	7,200,000
猿ケ瀬	14	10,299,705	和納二区	10	6,050,000
南谷内	29	6,968,180	和納三区	16	9,600,000
北　野	35	8,500,000	和納四区	13	12,250,000
夏　井	57	19,050,000	和納五区	28	22,600,000
西　中	42	15,130,000	和納六区	29	14,340,000
潟　上	14	4,980,000	和納七区	39	9,040,000
白　鳥	9	5,660,000	和納八区	28	8,400,000
西長島	27	7,370,000	間　瀬	17	11,350,000
横曽根	24	13,570,000			
西船越	43	7,490,000	合　計	899	368,967,098

二食付（朝昼）夕食なし
八五〇円
田植どきの改善申し合せ

労力のピークである田植も、あと、旬日に迫りました。

毎年、田植賃金、賄及び就労時間等については、種々協議され、皆さんの自覚と協力により、旧来よりの慣行が、逐次、改善されてまいりました。

今年も、合理的で且、経済的な田植にしようと、四月一日村の労力調整協議会が音頭をとって、区長会、婦人会及び各種農業団体が協議して、次のように申し合せしたので全農家で励行致しましょう。

田田植どきの申し合せ事項

一、田植の賃金は一日二食付（朝、昼）夕食なしで八百五拾円とする。但し親戚や手伝いの方でやむを得ない者は例外とする。

二、就労時間は午前六時より午後六時半迄とし、実働概ね拾時間とする。

三、賄は一食百円以内とし、その場に食べるもの以外は付けない。

四、土産品（菓子、手拭、折箱等）は廃止する。

五、賃金の支払は農協の賃金袋を利用しましょう。（賃金袋は各農協に準備してありますので申し込み下さい）

五月の乳牛
和牛メモ

今月の牛の飼養管理には次のことに気をつけましょう。

飼料と飼養

○乾乳は、次の分娩二ケ月前頃に。

○給与飼料を減らし、一時に乾乳するのが理想的。

○乳房が張りすぎたら少量搾乳で回数を多く。

○上手な乾乳は次回泌乳への最善の道。

管　理

○ブラシかけは皮ふ病を防ぐ。

○削蹄の好期です。軟かいとき削ろう。内側から削り外側を合せる。

衛　生

○吸血害虫。サシバエを防ごう。

○糞は堆肥として醗酵させときどきDDT、BHCを散布する。

経　営

○青刈作物の播種は計画的に、継続して給与できるように。

こんな献立は
いかがでしょう

田植どきのように、人を多く雇い入れるときは特に献立てには気を配ります。生活改善の推進母体である佐藤生活改善普及員さんから献立表を作っていただきましたのでご紹介いたします。

（一人分）

朝食

御飯	米（強化米入）	一五〇g
味噌汁	わかめ	三g
	馬鈴薯	三〇g
	煮干	三g
	味噌	三〇g
	油揚	¼枚
野菜の油炊め	きゃべつ	六〇g
	にんじん	二〇g
	もやし	三〇g
	玉葱	二〇g
	ちくわ	二〇g
	醤油	
	砂糖	
	卵	½
豆の甘煮	いんげん豆	三〇g
	砂糖	
	塩	
漬物	かぶの一夜漬	
	大根の朝鮮漬	

昼食

ちらしずし	酢飯	
	かんぴょう	六g
	しいたけ	四g
	れんこん	二〇g
	にんじん	一五g
	竹の子	三〇g
	玉子	二〇g
	さんど豆	少々
	紅生姜	少々
春菊の和えもの	春菊	八〇g
	もやし	三〇g
	ハム	二〇g
	醤油、砂糖	大匙½
	ごま油	小匙一
あじのから揚げ	小あじ	二匹
南ばん漬	片栗粉	少々
	玉葱	小一ケ
	赤唐がらし	少々
五人分の分量	醤油	大匙六
	酒	大匙一
	酢	大匙四
	砂糖	大匙三
清汁	豆腐	五〇g
	しいたけ	一〇g
	みつ葉	少々
漬物	野菜の塩もみ	
	きゃべつ、人参	
	胡瓜	

作り方

◇あじのから揚げ南ばん漬

1、小あじは水気をとり、片栗粉をつけて揚げる。

2、玉葱は輪切りにして赤唐がらしは輪切りにして種を出しておく。

3、瀬戸引きの流し箱に玉葱と粉を並べ、その上に魚を並べ、その上に玉葱をしき、その間に赤唐がらしをおく。

4、上から合せ酢（一度煮立て、さましておく）は魚がひたひたにつかるだけ入れ、翌日から食べる。

◇いんげんは一合で五人前できる。

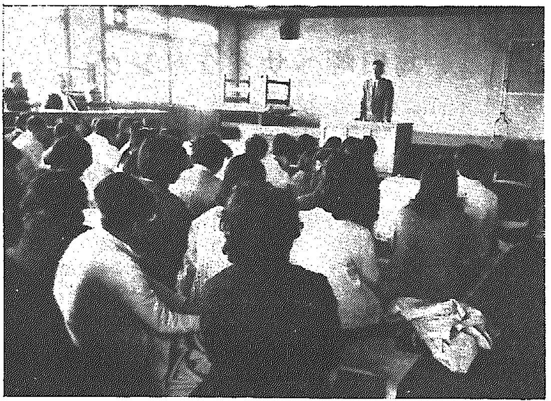
ラジオ農業学校は
巻町と合同で

今年度のラジオ農業学校は巻町と合同で集合研修を行なうことになりました。

四月十二日、巻町公民館で開講式を行ない、年間二十五回の集合研修がもたれます。

岩室村と巻町の農業に従事する若い青年がこれから進む農業の知識を深め、変りゆく農業のよき後継者として広い場で研修を続けるわけです。

ラジオ農業学校は毎日午前六時四十分と、午後七時からの十五分間NHKラジオ第二放送で放送しています。この放送は農業に従事する者なら誰れが聞いても非常に参考になりますからこの時間のダイヤルを第二放送に合せるようおすすめします。



ラジオ農業学校の開講式であいさつをする西村普及所長

姿を消した体育館

長い伝統と、幾多児童の勉学の場として親しまれてまいりました岩室小学校本校舎屋内体育館も、統合中学の建設に伴い、その処分が決定され、先般御案内のとおり一般競争入札の結果次の通り処分いたしましたのでお知らせいたします。

記

一、体育館の坪数　一二八・五坪
二、附属建物（便所、物置）坪数　二八坪
三、落札価格　七一五、五〇〇円
四、落札者住所氏名　燕市三宝産業KK丸山軍一